

収容率 100%でイベントを開催するための感染防止のチェックリスト

※このチェックリストだけでなく、「業種別ガイドライン」も参照すること。

令和2年9月29日作成

	項 目 (項目すべてにチェックが入っている場合は実施可と考える。)		備考
①	マスクの着用	☐ マスク着用の担保（マスク着用率 100%を担保）。 ・ 人員を配置し、マスク着用状況が確認でき、状況に応じ、個別に注意ができる体制。 ・ 必要に応じてマスクを配布または販売し、参加者へマスク着用していただく。 ・ 出入口及び会場内に、マスクの着用を掲示している。	・ 徹底した感染防止等 （収容率 100%で開催するための前提）
②	大声を出さない	☐ 大声を出さないことの担保 ・ <u>大声</u> を出す者がいた場合、人員を配置し、個別に注意等ができる体制。 ※隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提）。	
③	演者・観客間の接触・飛沫リスクの排除	☐ 演者・観客間の接触・飛沫リスクの排除 ・ 演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低 2m）できる会場。 ・ ラッパ等の鳴り物を使用している者がいた場合、人員を配置し、個別に注意、対応ができる体制。 ※スポーツイベント等では、ラッパ等の鳴り物を禁止。 ・ 演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しない確実な措置を講じている。 → <u>接触が防止できないおそれのあるイベントについては開催を見合わせる</u> こと！	・ 基本的な感染防止等
④	手洗い	☐ こまめな手洗いの奨励。 ・ 入場前の手洗い。 ・ 退場後の手洗い。	
⑤	消毒	☐ 消毒 ・ 主催者側による施設内のこまめな消毒（ドアノブ、手すり、スイッチ等不特定多数が触るところ）。 ・ 消毒液の設置（部屋等の出入口、会場内等）。 ・ 手指消毒。	
⑥	換気	☐ 換気 ・ 法令を遵守した空調設備の設置。 ・ こまめな換気（30 分に 1 回、5 分/回程度）。	
⑦	密集の回避	☐ 密集の回避 ・ 入退場時の密集回避（人員の配置、導線の確保、入退場の時間設定〈時間差にし、密集回避〉）。 ・ 待合場所等の密集回避。 ・ トイレ利用時の密集回避。 ・ 物販時等の密集回避。 ※入退場や共有部、公共交通機関の三密回避が難しい場合、回避可能な人数に制限する。	

⑧	飲食の制限	☐	飲食の制限 ・飲食用に感染防止策を行った以外での飲食の制限（飲食用に感染防止策を行った以外での飲食している者に対し、人員を配置し、個別に注意等ができるもの。休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底）。 ※イベント中の食事（菓子等の軽食を含む、飲料を含まない）を伴うものは、感染リスクを高める懸念があるため、当面の間、「大声での歓声・声援等が想定されるもの」と同様に取り扱う。	
⑨	参加者の制限	☐	参加者の制限 ・入場時の検温。 ・入場者の体調確認（発熱、臭覚・味覚異常、全身倦怠感、咳・咽頭痛、鼻水・くしゃみの有無は最低限確認）。 ※体調不良者は自宅で療養していただく（入場及び参加しない）。 ・入場を断った際の払い戻し措置。 ※払い戻しができない場合はその取扱いを事前に明確化すること。	
⑩	参加者の把握	☐	参加者の把握 ・可能な限り事前予約、あるいは入場時に連絡先の把握。 ・接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（もしサポ岡山）の奨励（アプリのQRコードを入り口に提示。ダウンロードや利用するよう、参加者に声をかける）。	
⑪	催物前後の行動管理	☐	催物前後の行動管理（交通機関、イベント後の打ち上げ等における三密の抑止） ・イベント前後の感染防止の注意喚起（公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起。可能な限り、予約システム等の活用により分散利用を促進）。	
⑫	入退場やエリア内の行動管理	☐	入退場やエリア内の行動管理 ・広域的なこと等により、入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討。 ※来場者の区画を限定、管理。 ・5人以内のグループまたは個人である（5人以内の同一グループ内であれば座席間隔を設けなくてもよい）。 ・異なるグループ間では座席を1席空ける等十分な間隔（立席の場合は1m）を空ける。	・イベント開催の共通前提
⑬	地域の感染状況に応じた対応	☐	地域の感染状況に応じた対応 ・参加人数が1,000人を超えるようなイベントについては事前に<u>岡山県</u>と相談。 【相談先：岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 Tel086-224-2111（代表）】	